

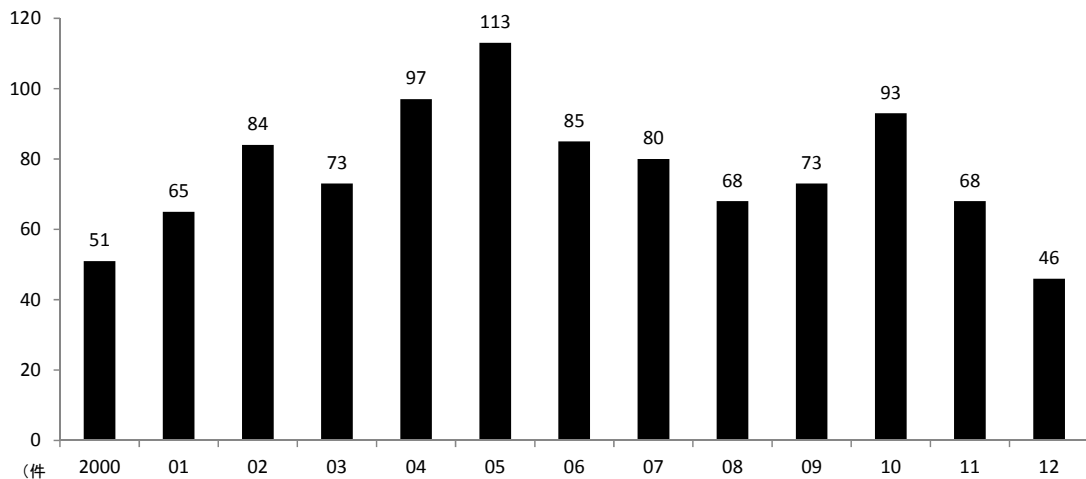
## チャイナ・プラス・ワンの動きをみせる九州・山口地場企業の海外進出

2011年の海外進出件数は68件、12年の海外進出件は46件となった。九州・山口からの海外進出先はアジアが大半を占めており、海外進出件数に占めるアジアの割合は、2011年82.4%（56件）、12年73.9%（34件）となっている。

アジア進出における国別の割合をみると、依然として中国が高い。しかし、中国が占める割合は2011年50.0%、12年32.4%となりシェアを落とした。その要因は、チャイナ・プラス・ワンとして、近年存在感を現してきているインドや、発展めざましいベトナム、タイ、インドネシアなどの東南アジア新興国の台頭である。また、2012年には、今後の成長が期待されるミャンマーに第一交通産業（北九州市）が、バングラデシュには東和コーポレーション（久留米市）が進出した。

九州・山口地場企業の海外進出先は依然としてアジア、とくに中国であるが、チャイナ・プラス・ワンの動きも強まっており、新たな海外拠点への関心は高まってきている。

図1 九州・山口地場企業の海外進出件数の推移



注) 1. 小売、飲食、個人サービスの店舗は除く  
2. 後に撤退した拠点を含む

(渡辺 高央)